

シラバス情報

授業方法	講義 実験 ・ 実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	自動車総合整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	4 年後期	・ 木曜日	・ 3 ・ 4 時限
時 限 数	26 時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	山光 史哲		
実務経験	有 ・ 無		
授業の目的	無段変速機（CVT）、SRSエアバッグ及びプリテンショナシートベルトの概要、構造・機能、点検・整備を修得する。国家一級小型自動車整備士資格取得を目標に、その試験範囲内のシャシ部門を学習する。		
テキスト	①自動車新技術（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②シャシ電子制御装置（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト範囲
第 1 回	無段変速機（CVT）概要 構造 機能 （1）システム構成（2）	無段変速機の概要、構造、機能を学習する。	①p.93~98
第 2 回	無段変速機（CVT） スチールベルト トルクコンバータ 前進	無段変速機の概要、構造、機能を学習する。	①p.99~103
第 3 回	無段変速機（CVT）装置の油圧制御機構 電子制御機構 点検整	無段変速機の電子制御機構、点検整備を学習する。	①p.104~111
第 4 回	SRSエアバック及びプリテンショナシートベルト概要 SRS	SRSエアバックの構造・機能を学習する。	①p.137~142
第 5 回	プリテンショナシートベルト 構造・作動 SRS・ECU SR	プリテンショナシートベルト 構造・作動 SRS・ECU SRSエアバッグ作動条件	①p.143~150
第 6 回	SRSエアバック及びプリテンショナシートベルト整備 車載故	エアバッグ、シートベルトの整備 故障診断装置 エアバッグ、シートベルトの廃棄要領	①p.151~176
第 7 回	登録試験一級対策 1	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
第 8 回	登録試験一級対策 2	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第 9 回	登録試験一級対策 3	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176

第 10 回	登録試験一級対策 4	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
第 11 回	登録試験一級対策 5	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
第 12 回	登録試験一級対策 6	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
第 13 回	登録試験一級対策 7	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
	期末試験	第1回～第13回までの授業内容に関する 筆記試験	
到達目標	国家一級小型自動車整備士資格取得を目標に、その試験範囲内のエンジン部門の内容を修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30%</p> <p>期末試験の点数 50%</p> <p>平常点 20%</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。 70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点＝良とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が70点未満の場合。		